

ヨコスカのこし

よく知らずらい？



サポセンにおいで  
に



横須賀市立  
市民活動  
サポートセンター

2016年  
4月1日発行

(((すかっこの市民活動情報)))



のたろん

春号

あ、3月にさっし乗車はっかりて  
ヨコスカのこととか、なにも知らななんだ  
まだ海とか見てないんだよね～  
へー私もこのま、ワカとりにいったよ☆  
え。なにそれ？



あ、はい



のたそんてす



そこのア+タッ!

た"ん?

# サポセンにすれば

# ヨコスカのいろいろなことがわかります



なんで  
ですか?

ヨコスカの福祉

ヨコスカの防犯

ヨコスカの子どもたち

ヨコスカの文化

ヨコスカの観光

ヨコスカの自然

はい  
三主目々～



サポセンは市民活動の打合せなどに使える場所です。

ここを利用している人たちの多くは横須賀市内で活動をおこなっています。

活動をおこなうためには、地域をよく知らなければなりません。

そのため、サポセンにはヨコスカのさまざまな分野、それぞれに詳しい方たちが集います。

## 気になる分野があったら受付へ。

サポセンでは、600あまりの市民活動団体から、  
あなたの興味に沿った市民活動をご紹介します。

## 朝9時から夜10時まで

 お待ちしております。

ご紹介  
します



## ～市民活動を支える人たち～

ふわっとしていて、いつもやさしい心遣い、のたろんフェアを明るくリードしてくれた県立保健福祉大学生の松下千咲さんにお話を伺った。

ボランティア元年と言われた阪神淡路大震災直後、明石海峡大橋の見わたせる神戸市に生まれる。物心ついた時は、街は復興した後だった。それでも、1月17日には必ず震災の授業があった。両親や祖父からも、当時の話をたくさん聞いた。

小学校4年生のとき、父の転勤で横浜市に引っ越す。小さい時は内気で人の名前を覚えるのが苦手だった松下さんだったが、積極的にクラスの委員を引き受けた。前に出ることで、級友の顔と名前を覚えていった。

中学では、吹奏楽部で活動。高校時代は、弦楽部と合唱。大学では、再び吹奏楽部で活動しているが、社会人になったら、また管弦楽をはじめたいという。

ボランティア活動は、高校生の時から。小学校での読み聞かせのボランティアや障がい児の余暇支援、震災1年後には石巻で避難所の炊き出しをするボランティアにも参加した。

小さいころから動物が好きで、盲導犬の訓練士にあこがれていた。盲導犬の訓練士になるにはいろいろな道があるが、社会福祉士の資格を取って訓練士になろうと思い、その資格をとれる大学に進学することを決めた。高校1年生のときだった。進学校だったので、担任からは他の大学も薦められたが、迷いはなかった。

## さぼせんサポーターズ 松下 千咲さん

第1志望の県立福祉大学社会福祉学科に進学。入学後すぐの「ボランティア市民活動論」の授業で「さぼせんサポーターズ」を知り、サポセンのボランティア活動へ。以来、ほぼ皆勤賞で活動している。



「ボランティアが趣味みたいになっている。時間ができると何かボランティアをしようと思ってしまう。」という。アルバイトは、個人指導の塾講師。小学生から高校生まで、文系、理系、何でもこなした。現在は、障がい児デイサービスで働いている。

夢は？と尋ねたら「子どもの頃、クラスに一人くらい障がいがあって通級してるような子達がいて、学校生活では支障がないのに、障がいがあるだけで差別を受けじめられたりするの、すごくおかしいと思っていた。障がい自体はなくすことはできないけれど、障がいによってその人の生活が制限されない社会を作っていきたい。」と話してくれた。就職は、重症心身障がい児等を対象とした医療系の在宅支援にかかわれることを希望しているという。

鋭敏な感覚と明晰な頭脳で、誰もがみな平穏普通に暮らして行ける社会をつくってほしい。小柄な松下さんに宇宙を見たそんな気がした。

(はこざき)

## さぼせんサポーターズとは

さぼせんサポーターズ（通称さぼサポ）は2007年に発足した大学生を中心とした学生ボランティアグループで、各種イベントや福祉、まちづくりなど、サポセンならではの様々なボランティア活動ができます。イベント好きな方、子ども好きな方など一緒に“ちょこっと”ボランティア始めませんか。

ふらっと  
遊びにきてください

## こたろんフェア

日時： 2016年5月3日（火）・4日（水）10:00～16:00  
場所： 横須賀市立市民活動サポートセンター

「のたろんフェア」をきっかけに、横須賀市内の福祉活動団体が集り開催するイベントです。活動の紹介、作品展示、作業所製品の販売やフリーマーケットをおこないます。当日はサポセン館内に喫茶スペースが作られます。



サポセンを利用している人に聞きました。

横須賀で、あなたの好きな場所  
それ、どうして好きなの？

海と夜景がキレイ！！ 世界が！  
遊べる、喰える、買える  
海あり山あり灯台あり

家から散歩コース 水源地 Yokosuka は海の町 夕焼けすばらしい♡ 車で走って気持ちいい  
眺望が最高！ 富士山がきれいに見える  
横須賀特有の軍港を身近に感じる 鴨居地区のみんなで作るお祭り 海がきれい。行き来する船を見れる  
東京湾を一望 ねこがいっぱいいる 富士山が見える景色 魚釣り、磯遊び 桜と富士山の雪景色  
里山が残っている 空気おいしい 遠くまで見渡せる 子ども達のがびのがびできる  
ハワイっぽい風景 本がたくさんある 遊具がいっぱい 人がいなくて自然の花が咲き、本当に静か  
船のイルミネーション ラストサムライに会える 毎日散歩ジョギングするのもってこいのロケーション

それはどこでしょう？

開国橋の海岸 (久里浜) 浦賀住友重機機材ドック  
中央公園 野比海岸 津久井浜  
パリー公園 観音埼 ヴェルニー公園 森戸川の源流や前田川の源流 長井の魚市場近くの海  
横須賀美術館 猿島 大滝町 鷹取山 横須賀鴨居地区 横須賀軍港及び周辺 立石海岸  
走水水源地の上のバス停前 たたら浜 さぼせん うみかぜ公園 ゆらの里 SYOKU-YABO農園  
みはるこうえん 南図書館 まぼちよく (馬堀の海岸沿いの道)

おひるね

去年の7月に交通事故に遭った。幸い軽傷で済んだものの、この寒さから腰痛がひどい。肩こりも限界に近い。ある日のこと車で看板を見て、思い切つて整形外科に行つてみることにした。初めての整体で緊張気味だったが、担当の整体師さんはとてもフレンドリーで腕がいい。施術中にも世間話が弾む。

「わたしの家の近くにラーメン屋があって、仕事が忙しいときはそこで済ましちゃうんですよ。いつもタマゴをおまけしてくれてえ〜。昨日はビールも飲んじゃいました〜」と整体師さん。事故により体重が増加しマイナス8kgを目指す私には拷問のような話。しかし私も大人。話を合わせる。「そうですすよねー仕事明けのラーメンうまいっすよね〜」と気の抜けたことしか言えない。

「この前行ったラーメン屋さんは、ニンニクたっぷり、トンコツ系でえ〜」と整体師さん。時刻は18時、事態は切実だ。その刹那、お腹が鳴った。崩れ落ちそうになる理性を必死に手繰り寄せる。繰り返される痛みと快感、そしてビール&ラーメン&タマゴの誘惑との戦いが始まった。

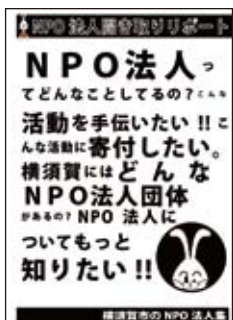
ビールとラーメンとタマゴ。ビールとラーメンとタマゴとギョーザ。頭の中でぐるぐる回る。やめてくれ！今ラーメンを食べるわけにはいかない！そうだ、昼はカツ丼だったんだ！

「おおしまさん、骨盤がちよつと歪んでいますね。治すと血流と代謝が良くなって痩せますよ〜」と整体師さん。ゆるみきつた顔で「ふえ〜ほううんでふねえ」と返すのがやつとの私。嗚呼、意志薄弱。整形外科を出て10分後にはラーメン店の敷居を跨いでいた。ラーメンからのぼる幸せな湯気。ツヤツヤのタマゴ、ニンニクたっぷりのギョーザ。後悔はない……はずだった……。翌日の朝体重計の結果は、言わずもがなである。マイナス8kgの道のりは果てしなく遠い。(おおしまりえこ)

\*\*\*\*\* サポセンtopics トピックス

発行 NPO法人 聞き取りレポート

横須賀市内の NPO 法人を紹介した冊子「NPO 法人聞き取りレポート」を発行しました。今回もサポセンスタッフが団体の方々に会い、素朴な疑問を投げかけたりしてお話を聞いてきました。この冊子がみんなに NPO 法人について知ってもらうキッカケになるとうれしです。



のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報 (カメラ付き携帯で読み取れます)
  - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
  - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん 検索

情報誌「のたろん」春号 (通巻 66 号) 2016 年 4 月 1 日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター  
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩 1 分)

TEL 046-828-3130  
FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

